

**参考資料**

**令和7年南アルプス市議会  
第2回定例会(6月)市長説明要旨(抜粋)**

(令和7年5月27日 定例記者会見用)

**南アルプス市**

令和7年南アルプス市議会第2回定例会（6月）  
市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、公約に掲げております「3本の柱」に沿った取り組みについてご説明申し上げます。

まず、1つ目の柱、『未来をつくる産業振興』についてであります。

「フモット南アルプス」については、大型商業エリアに、「コストコ南アルプス倉庫店」がオープンし、先行している地域交流エリアと合わせ、集客交流拠点としてグランドオープンを迎えました。

一方、交通渋滞については、一時的な混雑はあったものの、懸念されていた混乱は生じませんでした。今後も状況を注視しながら必要な対策を講じてまいります。

この度のコストコの出店は、地元経済に対しても好影響をもたらしております。今後は、人の流れを、市内全域に波及させる施策も促進してまいります。

次に、「南アルプスインターチェンジ周辺整備プロジェクト」についてであります。

本市の未来を担うプロジェクトの実現に向けて、本年度「南アルプスIC周辺整備室」に再編し、昨年度設置した庁内プロジェクトチームとの両輪による推進体制を構築いたしました。

現在、中央エリアは、「フモット南アルプス」と親和性の高い土地利用に向け、許認可調整や企業の動向調査などを進めております。また、東西エリアについては、事業化に向けて一歩ずつ着実に前進しております。

次に、「企業誘致の推進」についてであります。

下今諏訪工業団地では、「株式会社トリケミカル研究所」と「株式会社昭栄精機」が4月に竣工し、「株式会社昭栄精機」は、本市へ本社機能を移転することになっております。

「武蔵エナジーソリューションズ株式会社」は3月に、「株式会社日建」は2月にそれぞれ起工式が行われ、建設工事に着手しております。

御勅使南工業団地では、「株式会社コーサー」が令和8年の竣工に向けて、第1期建設工事を進めております。また、今後の事業拡大を見据え、第2期以降の建設を踏まえた仕様とすることが発表されております。

上今諏訪工業団地についても、「株式会社丸眞熱処理工業」が、本市へ本社機能の移転を決定しました。令和8年の完成を進めており、市内東部への産業立地が加速しております。

続きまして、2つ目の柱、『希望をかなえる子育て応援』についてであります。

「こどもまんなか社会」の実現を目指し、本年3月、「南アルプス市こども計画」を策定し、「こども応援部」を中心に、総合的に取り組みを進めております。

母子保健と児童福祉の総合的な相談・支援機能を担う「こども家庭センター」については、これまで以上に、関係機関との連携を図りながら、子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる相談機能の充実を目指してまいります。

保育所については、3月に、民間の認定こども園、「十日市場保育園」の園舎が完成しました。また、4月には、小規模保育事業所の「百々めでの保育園」が開業し、6月には、併設する地域子育て支援センターがスタートしております。

旧慈恵寮跡地を活用した、「民設民営による保育所等の整備」については、令和8年4月の開業を目指しております。

また、放課後児童クラブについては、4月から8月まで、土曜開所を試行し、利用状況や保護者の皆さまの声を踏まえ、今後の方向性を検討してまいります。

最後に、3つ目の柱、『魅力あふれる地域整備』についてであります。

全国的に空き家が増加傾向にある中、本年度から建設部所管の「空き家対策事業」と総合政策部所管の「空き家バンク事業」を一元化し、一体的に推進する体制を整えました。

今後は、空き家に関する課題解決を図るとともに、移住定住施策との連携により、人口の社会増に繋げてまいります。

また、本市では「若者世帯定住支援奨励金」を実施しておりましたが、山梨県による「子育て世帯定住支援奨励金」が創設されたことから、県の制度に合わせた補助金として新設しております。

次に、「新鏡中条橋の整備促進とリニア開通を見据えた土地利用」についてであります。

新鏡中条橋の整備については、「都市計画マスタープラン」への位置づけを検討するとともに、将来的な土地利用の課題についても検討してまいります。

続きまして、現在進めております主な事業の状況と令和7年度から新たに実施を予定している事業についてご説明申し上げます。

まず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてであります。

総合戦略は、本年度から5年間の新たな計画期間に入りました。地域ビジョンに「新たな交流がつながりを生み 次世代を育む 住みやすいまち」を掲げ、目指すべきまちの姿の実現に向け、5つの基本目標を位置付けております。

次に、「ふるさと納税」についてであります。

令和6年度のふるさと納税は、42億6千万円の寄附をいただき、令和5年度の実績を15億円上回る過去最高額を更新いたしました。

本年度においても、制度の普及啓発、返礼品の充実等に努めてまいります。

次に、「中学校吹奏楽部への楽器購入プロジェクト」についてであります。

ふるさと納税を活用した「ガバメント・クラウドファンディング」を立ち上げ、楽器購入費への寄附を募ったところ、市内外の方々から支援をいただき、既に当初の目標額を達成することができました。7月に開催予定の吹奏楽コンクールに向け、引き続き6月30日の期限まで、受け付けております。

次に、「人生百年時代づくり・地域創生ソフト事業」についてであります。

この度、「公益財団法人 地域社会振興財団」の交付金の採択を受け、「高齢者のデジタルデバイド解消」に向けた体制づくりを開始いたします。

高齢者の方々も安心して暮らすことができる地域社会を構築してまいります。

次に、「南アルプス元気券」についてであります。

国の物価高騰対策臨時交付金を活用し、7月31日まで使用できる「南アルプス元気券」を発行いたしました。

家計への負担を軽減し、身近な生活や地域経済を支えてまいります。

次に、政策や施策ごとに推進している「部門別計画の状況」についてであります。

はじめに、「都市計画マスタープラン策定」についてであります。本計画は、令和8年度からの20年間を新たな計画期間としており、本年度中の策定を目指してまいります。

次に、「過疎地域持続的発展計画」についてであります。

本計画は令和8年度からの5年間を新たな計画期間としております。人口や観光入込客に関する目標設定、過疎地域の持続的発展に向けた事業展開、過疎債の活用策などを検討いたします。地域や関係者の声を聞きながら、策定を進めてまいります。

また、本年度から「第3次総合計画」とともに、「第3次男女共同参画基本計画」や「第5次地域福祉計画」「第5次障害者計画」などの部門別計画が、持続可能な地域社会の実現を目指し、新たな計画期間をスタートさせております。

続きまして、本定例会に提出いたしました案件につきまして、ご説明申し上げます。

市議会第2回定例会に提出いたしました案件は、条例の一部改正の専決処分につき承認を求める案3件、条例案1件、補正予算案2件、財産の取得案6件、市道路線に関する案1件、同意案1件、合わせて14件であります。

詳細については、総務部長、総合政策部長から説明いたします。